



今回登場するのは、アメリカ・ニューヨーク州出身のアンドリュー・ノーランさん(29)。仙台市青葉区。『東京エレクトロン』(本社東京)で働いているんだって。

## アンドリュー・ノーランさん(29)

アメリカ出身／東京エレクトロン勤務

東京エレクトロンはスマートフォンやタブレット、テレビやエアコンなど生活に欠かせない電気製品に使われる半導体を作り、アメリカやヨーロッパ、アジアにもグループ会社があります。



ノーランさんはエンジニアとして、宮城県大和町にあるグループ会社で自社製品を導入した会社をサポートしています。

「お客様はアメリカや南アジア、ヨーロッパなど海外企業がほとんど。出張が多いけれど、日本はアジアへの飛行機のアクセスが良く助かる」

ニューヨーク州立大学バニ校で物理学を学び、半導体の研究をしま

ニアとして、宮城県大和町にあるグループ会社で自社製品を導入した会社をサポートしています。

「お客様はアメリカや南アジア、ヨーロッパなど海外企業がほとんど。出張が多いけれど、日本はアジアへの飛行機のアクセスが良く助かる」

した。東京エレクトロンが地元で募集したインターンシップ(就業体験)に申し込み、卒業後の2013年に就職しました。



2年前に出張で初めて

仙台を訪れ、その後転勤で移り住むことに。「ニューヨーク州の小さな町で生まれ育った僕にとって、初めて暮らした外国が仙台。とても大きな街と思った」。ただ「東京は英語の表記や英語を話す人が多いから楽。仙台は英語表記も英語を話す人も少ない」とも感じているそうです。

仙台に来て一番よかったですのは、家族ができたこと。「出張で来た時にまたまた知り合った女性と偶然再会した」と、妻アイカさん(30)との運命的な出会いを笑顔で語りました。今年結婚し、アイカさんの娘ジェシカさん(12)との3人家族になりました。今年結婚し、アイカさんの娘ジェシカさん(12)との3人家族になりました。休日は遊びや旅行を楽しんでいるそうです。



# 家族でき人生が豊かに



猊鼻渓(げいひけい)で舟下りを楽しんだノーランさん一家=一関市

家族を持ち、人生が豊かになったノーランさん。東北で暮らす外国人の誰もが幸せになつてしまね。

浅草寺の羽子板市(～19日、東京)  
江戸時代から続く師走の行事だよ。羽子板に手形を取り、名前を書いてもらう「手形羽子板」は、子どもの成長の記念に買う人が多く、外国人観光客にも人気なんだ。

### 今週の注目ニュース

◇17日(火) 浅草寺の羽子板市(～19日、東京)  
江戸時代から続く師走の行事だよ。羽子板に手形を取り、名前を書いてもらう「手形羽子板」は、子どもの成長の記念に買う人が多く、外国人観光客にも人気なんだ。

◇21日(土) 国立競技場のオープニングイベント(東京)  
東京五輪・パラリンピックのメインスタジアムの完成を祝い、ウサイン・ボルト選手や桐生祥秀選手が、障害者競技で活躍中の選手とリレーをするんだ。